

総務委員会会議録

令和3年9月10日（金）

（開 会） 13：50

（閉 会） 14：12

【 案 件 】

1. 議案第93号 令和3年度飯塚市一般会計補正予算（第6号）

○委員長

ただいまから総務委員会を開会いたします。「議案第93号 令和3年度飯塚市一般会計補正予算（第6号）」を議題といたします。執行部の補足説明を求めます。

○財政課長

「議案第93号 令和3年度飯塚市一般会計補正予算（第6号）」についてご説明いたします。

「議案第93号」と表示しております令和3年度補正予算資料の3ページをお願いいたします。今回の補正予算につきましては、一般会計で11億6377万円を追加いたしまして、補正後の予算総額を778億136万1千円にしようとするもので、表の下に記載しておりますように、令和3年8月の大雨災害に係る災害復旧等に要する経費、及び新型コロナウイルス感染症対策に要する経費を補正するものでございます。

4ページの補正予算概要書をお願いいたします。まず歳入でございますが、国庫支出金、県支出金につきましては、歳出予算に計上しております対象事業の財源を補正するものでございます。このうち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金につきましては、交付限度額の通知がありましたので、1億2750万円を追加するものでございます。繰入金につきましては、今回の補正による財源調整としまして、財政調整基金繰入金を3億9952万2千円追加するものでございます。かんがい施設整備基金繰入金につきましては、8月の大雨で被災した白門井堰の応急的な用水対策費用に活用するため、3千万円を追加するものでございます。諸収入につきましては、歳出予算に計上いたしておりますPCR検査の利用者負担金と、地域活性化応援券の販売収入などの精算負担金を補正するものでございます。市債につきましては、8月の大雨に係る災害復旧費等の財源として追加するものでございます。

次に、歳出でございますが、今回の歳出予算に計上しております新型コロナウイルス感染症対策事業費では、感染症の拡大防止、サービスの維持、学びの保障等を目的に感染症の検査に係る支援事業などを計上いたしております。検査の際に使用するPCR検査キット、抗原検査キットの説明を冒頭に記載いたしております。

総務費、一般管理費の勤務体制確保事業費では、市職員に新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合に、行政検査の対象とならなかった無症状の職員で、検査の必要性があると判断される職員に対し、PCR検査を実施するため、PCR検査キットを購入する消耗品費28万4千円を計上するものでございます。

5ページをお願いいたします。民生費、社会福祉総務費の新型コロナウイルス感染症検査支援事業費では、高齢者や障がい者を対象とした福祉関連事業所等において、新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合に、行政検査の対象とならなかった無症状の従事者を対象としたPCR検査を支援するため、配布するPCR検査キットを購入する消耗品費104万2千円を計上するものでございます。

児童福祉総務費の新型コロナウイルス感染症検査支援事業費では、保育施設等や障がい児通所・入所事業所等において、新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合に、行政検査の対象とならなかった無症状の子どもや従事者を対象としたPCR検査や、事業所や施設で感

染症が疑われる症状を発症した子どもや従事者を対象とした抗原検査を支援、または実施するため、検査キット購入する消耗品費など1071万円を計上するものでございます。

青少年対策費の新型コロナウイルス感染症検査支援事業費では、児童クラブ等において、新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合に、行政検査の対象とならなかった無症状の従事者を対象としたPCR検査や出勤後に感染症が疑われる症状を発症した従事者を対象とした抗原検査を実施するため、検査キットを購入する消耗品費35万5千円を計上するものでございます。

災害救助費の災害援護費では、被災された方の生活立て直しのための災害援護資金貸付金650万円を計上するものでございます。

6ページをお願いいたします。衛生費、予防費の新型コロナウイルス感染症検査支援事業費では、感染者と接触した、あるいは集団感染が発生した会社、団体等に所属する方と接触した無症状で検査を希望する市民のPCR検査を支援するため、一定の利用者負担金と引きかえにお渡しするPCR検査キット購入に係る消耗品費375万9千円を計上するものでございます。

商工費、商工業振興費の地域活性化応援券発行補助事業費では、キャンセル待ちの購入希望者分の2万冊を増刷し、さらなる消費環境を図るもので、地域活性化応援券精算金など2億8468万7千円を追加するものでございます。

次の飲食店応援地域活性化応援券発行事業費では、販売を延期していた飯塚プレミアムグルメ券のプレミアム率を20%から30%に変更し、さらなる消費喚起と飲食店とその関連事業者の支援を図るもので、地域活性化応援券精算金など8622万2千円を追加するものでございます。

次の新しい生活様式対応事業者応援事業費では、感染防止対策に取り組み、事業の継続と雇用の維持に取り組む中小企業者や事業主を応援するため、応援金など1億9001万3千円を計上するものでございます。なお、同じ名称で令和2年度に事業を実施しておりますが、今回は対象業種の範囲、従業員の感染予防対策や工事費を追加するなど、対象経費の範囲を拡大して実施しようとするものでございます。

教育費、事務局費の新型コロナウイルス感染症検査支援事業費では、市立小中学校、飯塚日新館小中学校、嘉穂県立高等学校附属中学校において、新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合に、行政検査の対象とならなかった無症状の児童生徒や、教職員等を対象としたPCR検査や学校に来てから感染症が疑われる症状を発症した児童生徒、教職員等を対象とした抗原検査を支援または実施するため、検査キットを購入する消耗品費2946万5千円を計上するものでございます。

7ページをお願いいたします。予備費では、今回の8月の大雨災害に係る応急復旧等に活用した額の一部を補填するため、4千万円を追加するものでございます。

次の災害復旧費では、費目ごとに被災カ所数と主な被災カ所等を記載いたしております。

農業施設災害復旧費では、102カ所の災害復旧及び白門井堰被災による仮設の揚水ポンプ設置にかかる経費として、2億3663万6千円を計上するものでございます。

農地災害復旧費では16カ所、1億3122万1千円、林業施設災害復旧費では20カ所、1236万4千円、道路橋りょう災害復旧費では30カ所、4541万円、河川災害復旧費では41カ所、6019万4千円、都市施設災害復旧費では、1カ所、850万円、8ページをお願いいたします。衛生施設災害復旧費では、2カ所、250万円、その他公共及び公共施設災害復旧費では7カ所、300万円を計上するものでございます。

今回の補正予算では、新型コロナウイルス感染症対策に関する予算が6億653万7千円、8月の大雨災害に関する予算が5億1723万3千円となっております。なお、大雨災害に関する予算につきましては、道路の通行や河川、水路の流水の阻害となる土砂や倒木の撤去経費、補助申請が必要な工事に関する調査測量設計委託料につきまして、早急に着手する必要がある

ましたので、予備費を6千万円程度充用いたしております。また、大雨による被災力所である白門井堰につきましては、河川内の工事となるため、出水期の工事ができないなどの制約があることから、今回の補正予算には計上いたしておりません。

続きまして、繰越明許費の補正につきましては、各所農業施設災害復旧工事ほか3件について追加するものでございます。債務負担行為の補正につきましては、災害援護資金貸付金利子補給金につきましては、債務が後年度にまたがるため追加するものでございます。

9ページ以降に、今回の補正に係る歳入歳出予算額の推移表及び市債、基金の状況表を添付いたしております。内容の説明につきましては省略させていただきます。以上で補足説明を終わります。

○委員長

説明が終わりましたので質疑を許します。質疑はありませんか。

○小幡委員

新型コロナウイルスの対策事業費のちょっと全般にお尋ねしたいのですけれども、民生費の5ページかな、民生費がありますよね。民生費の中で、社会福祉総務費とその下に児童福祉総務費がございますけれども、内容をちょっと読んでいますけれども、特に児童福祉総務費の中で、仮に感染者が発生しました、クラスターが発生しましたとかというときに、PCR検査をやるのではないかとということで①に180回分という数字が出ておりますけど、これは180人分という解釈でよろしいのですか。

○子育て支援課長

180人分の検査ができるものとなっております。

○小幡委員

PCR検査と抗原検査が予定されていますけれども、明確にこういう場合がPCR検査を受ける、こういう場合は抗原検査だということをご説明いただけますか。

○子育て支援課長

PCR検査につきましては、無症状の方であっても感染をしていれば、感染の状況がわかるものでございます。検査をする機会といたしましては、まず児童福祉総務費では保育施設等及び障がい児通所・入所事業所のほうを考えておりますが、そういった施設で感染者が出た場合、行政検査の対象にならなかった子どもたちや従事者の感染を確認するために行うものでございます。

抗原検査のほうにつきましては、風邪のような症状が出た場合に、そういった場合に検査をすると感染の状況がわかるということで、抗原検査の場合は症状が出ていない方には、結果が出ませんので、症状がある方を対象にということで区別しております。

○小幡委員

その①の下の②、感染者が発生した対象事業所の子どもに対するPCR検査、先ほどと一緒に3690回分だから3690人ぐらいの対象ということで、予算計上されていますけど、対象事業所が公立、私立の保育所とか保育園、もろもろ書いてありますよね。この子どもたちが、PCR検査を必要とした場合に実施されるのでしょうかけれども、同じく抗原検査もそうでしょうかけれども、これは1100回分となっておりますけど、検査費用は、要は市のほうで負担するようということでしょうかけれども、事業所負担というのが、送料というようところで出ているのですけれども、1回の送料というのはどれぐらいを想定されているのですか。要は、事業所負担はどれぐらいで、1回当たりを考えとったらよろしいのでしょうか。

○子育て支援課長

事業所に負担していただくのは、①の保育施設等の従事者が、対象になった場合は従事者の方の分は事業所のほうに負担していただいて、郵送をしていただくような形になります。800円ぐらいの郵送料がかかるような形になっております。②の子どもたちに向けての検査

につきましては、市のほうで送付しますので、送料もかからないようになっております。

○小幡委員

ちょっとコロナを飛ばしまして7ページ、今回の8月の大雨による災害で、被災したということになっていきますけど、8月で大雨が降りましたよね、ずっと、お盆の間も。これの主な災害なんでしょうけれども、9月の初めにこれだけの予算を組んだということは、担当課が現地にかなり走られたと思うのですけれども、それはご苦労さまでございました。金額が曖昧というか、これはアバウトにこれぐらいかかるだろうというような予算の感覚で組まれたという理解を我々はしておいてよろしいですかね。正確に見積り、積算ができない状況にあると思うんですね。それはどのような予算構成で考えておられるのかだけ教えてください。

○財政課長

質問委員がおっしゃるとおり、短期間での調査をした上での予算編成ということでございましたので、概算で予算計上しているという状況ではございます。

○小幡委員

ということは我々の感覚的にはあくまでも予算であって、実質処理をすると、増減は出てくるよと。そういう感覚でいいですかね。これは災害だから、急いでやろうという認識で我々は受け取っておいてよいということですね。

それと最後1点だけ。7ページの上に、災害復旧費で農業施設災害復旧費の中に白門井堰が壊れていますよね。あの間は国交省との調整も必要なんだろうけれども、修理が終わるまで仮設のポンプで水を揚げるのでしょうかけれども、その燃料費だけの予算ですよ。井堰の復旧に関しては、本市が負担するところはないという考えでよろしいでしょうか。

○都市建設部長

この白門井堰につきましては、補助災害のほうにのせますので、まずは委託を出して、それから災害査定を受けます。その後に、製作とそれと発注ということになるのですが、まずは災害査定にのせるということで、発注まですると、河川の中に仮設をつくらなくちゃいけないというふうになりますと、先ほども説明しましたが、水があったら、工事はできませんので、まずはそこが終わった段階で工事をするということで、新年度予算に出てくるということになっております。

○委員長

ほかに質疑はありませんか。

(な し)

質疑を終結いたします。討論を許します。討論はありませんか。

(討論なし)

討論を終結いたします。採決いたします。「議案第93号 令和3年度飯塚市一般会計補正予算(第6号)」については、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(異議なし)

ご異議なしと認めます。よって本案は原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

これをもちまして総務委員会を閉会いたします。